



まち歩き点検で 安心な地域に

7月21日(月)、車いすとアイマスクを付けて「阿須那公民館」から「羽須美体育館」、「阿須那診療所」の3施設を点検。この日は14名が参加し、ペアを組んで施設の敷地や道路、歩道をアイマスクで歩いたり車イスで通行してみたりした。「凸凹してつまずくよ」「信号押してもわからん」「診療所へ行くのに横断歩道がない」など、日ごろは気にしてなくても支援される対象になっている

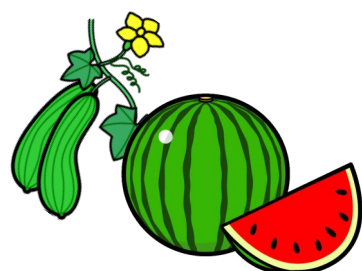


車いすとアイマスクで通行
「どこが「やさしくない？」」「危ない？」のだろう」

阿須那公民館だより

羽須山

8月



R 3. 8. 17 発行
阿須那公民館
TEL:0855-88-0001
FAX:0855-88-0002
I P:050-5207-6000

と、とても不便だった危険だと感じました。公民館に帰ってからグループごとに意見交換し、大型の地図に危険箇所を番号付けしたり、専用の様式に書き込んでみたりしました。修繕してほしいものと、修繕できなかったら自分だったらどうしてあげればいいのかというソフト面も考えていきました。

この取り組みは、東京パラリンピックのホストタウンに認定された全国の自治体の中から5市町村が選定された中に邑南町が対象となり、12公民館単位で実施されました。この意見をもとに町の担当課への提出に加え、「施設等のバリア&心のバリア」を町全体で意識啓発していくというものです。



阿須那小学校区・地域とともにある学校づくり推進委員会開催(8/3)



令和元年から実施している「地域とともにある学校づくり会議」は、これまでは町全体や羽須美中学校区などでしたが、3年目は阿須那小学校区で話し合いを行いました。阿須那小学校の先生と羽須美中学校の先生、地域の団体と合わせて21名が3グループに分かれて「育てたい子ども像」に向けて地域で何ができるか、また具体的な取り組みについて意見が交わされました。色々な提案がありまし

たので紹介します。

軍原キャンプ場で自然体験・伝統の神楽を支援する・中学生と一緒に学習する機会・次の日祭への子どもの参加・学校行事のでの地域との交流・児童提案のイベント・・・など、たくさんの意見が出ました。

公民館として学校と地域とのつながりを、理想ではなく実践に繋げるよう学校と一緒に取り組みますので、住民の皆様のご意見やご協力をお願いいたします。



先人による真摯な努力と旺盛な熱意

～農山村で夏季大学～

中国文化賞受賞の

偉業を探る

阿須那公民館の資料ケースの中に「中国文化賞」の盾と旧阿須那村文化協会が島根県教育委員会から表彰された賞状があります。

実は今年の春に、町立郷土館の森岡館長が来館され、「公民館にあるお宝を集めて町民に紹介したい」と言われました。色々調べると、公民館の事務所奥の廊下には掛け軸が永く飾ってあり、左の内容が書かれていました。森岡館長は「昭和の30年代とい

う戦後復興という時代に、中国山地の農山村地域で、旧阿須那村から合併した羽須美においてこの表彰があるのは、社会教育として大きな功績であり、何があつたのだろう」と驚かれました。



書かれたのは旧羽須美村職員で長く勤められた齊藤知一氏（故人）でした。

そこで昔の広報を探したり旧職員の方に聞き取りをしたところ、三上茂さん（下口羽）から貴重な資料を提供されお話を聞くことができました。持っ

開講二十周年にあたって

羽須美文化協会長 末田王子之介

第二十回羽須美村夏季大学の開講にあたり、開講当初を回想し、うた感慨無量なものがあつた。終戦後の昭和二十四年といえは、我々は前途に目標を見出しえず、実に混沌とした時代でありまして、当時の心ある人達が「何とかしなければ」という真摯な希がやがて文化協会の誕生となり、その事業の一つとして夏季大学の開講となったのでありますが、初回の開講にあたりましては、当時広島大学教授小川二郎先生に御無理をお願いし、いわばこの夏季大学の学長として、終始懇切なるご指導とご配慮をいただきました。

以来この山間僻地に多数の先生方のご足労をわずらわし、今日まで他に類のない夏季大学を育て、いただいたのであります。

恵まれぬ農村大衆の知識向上と、社会人としての教養を高めるために発足したこの夏季大学も、昭和二十七年県教育委員会との共催により、教職員自主認定講習としての役割も併せ果たすことになり、聴講者も逐年増加し、県下に一躍有名な存在となつてまいりまして、昭和三十一年秋、特に県教育委員会より「優良社会教育事業」として破格の表彰を受け、更に昭和三十三年「中国文化賞」を受賞し、本夏季大学の開講十周年を記念するにふさわしく、このうえない榮譽にあずかったのであります。

この二十年間、多数の講師先生方、特に小川先生、今堀先生には終始格別なる御指導と御助言をいただきましたし、村当局及び関係各位並に一般聴講者の方々の御理解と御援助にたいし、深甚なる敬意を捧げますと共に、故高橋雅紀氏と、この二十周年の記念式をまたず、一昨年故人となつた熱心なる文化協会の盟友、右谷喜三郎氏の御冥福をお祈りしたいと思ひます。

二十年は長い年月でありました。この間、世界も、日本も、そして郷土羽須美も変わつてまいりました。どうか皆様のお力で、この夏季大学を守り、今後の新しい時代に即応して、過去のよき伝統を生かされんことを念願し御挨拶と致します。

（原文そのまま掲載）

昭和三十三年

第十五回中国文化賞

この賞は過去十年間にわたり、公民館活動を中心として山村へき地の郷土文化向上に努め、とくに毎年農山村としてはまれにみる充実した夏季大学を連続開講、農民の啓蒙に著しい功績を残し、社会教育の振興に貢献した



院の藤沢千鶴子教授の「女性の幸福になる道」など、多くの著名な講師を招きハイレベルな内容で

教授 長田新博士の「中・ソを訪れて「祖国日本の行く道」や文学博士の森戸辰男博士の「平和と教育」「民主主義の反省」、広島女学院の藤沢千鶴子教授の「女性の幸福になる道」など、

あつたことが判明しました。また三上さんからは「当時は戦時中・戦後の混乱期で正規の教員資格のない代用教員が教員免許を取る単位のために夏季大学を受講しているため、講義内容も高いレベルのものでした。当時の阿須那公民館や阿須那中学校体育館には、村内や近隣の学校から多くの教職員が会場を埋め尽くし、ここらではない有名な夏季大学だった」と話されました。

展示ケースにあるものがとても貴重なものであり、その内容といふのは戦争からの復興には「社会教育」が大事であり、当時の社会

教育主事であつた齊藤知一さん等多くの先人の功績により、都市から離れた中国山地の農山村・旧阿須那村に、有名大学の講義を受けていた歴史があることを今回知ることができました。



（主事）

脳トレチャレンジ！

今月も「あすなクイズ」があります（出題者：松島道幸さん）。家にある書籍から答えを見つけることもあるかもしれません。

問題1 阿須那地区ご当地クイズpart3

- ①阿須那地区には、旧「大字」はいくつあるでしょうか？
A, 3 B, 6 C, 8 D, 12
- ②阿須那地区の人口は、現在約650人ですが、昭和30年代の人口の約何分の1ですか？
A, 3分の1 B, 4分の1 C, 5分の1 D, 6分の1
- ③戸河内に復元された阿須那式炭焼き窯は、その形と煙突の数に特徴があります。形にはどんな特徴がありますか？
A, 羽子板型 B, ひょうたん型 C, ひし型 D, ハート型
- ④雪田神楽の「岩戸」は町の無形民俗文化財に指定されています。登場人物は6人ですが、アマテラスオオミカミ、タヂカラヲの命、スサノオの命、フトダマの命、コヤネの命とあと一人は誰でしょうか？
A, クシナダ姫 B, スセリ姫
C, アメノウズメの命 D, イザナミの命
- ⑤宇都井地区の旧宇都井駅を中心に開催される「INAK Aイルミ」は今年も計画中ですが、今年開催すれば何回目になるでしょうか？
A, 6回目 B, 8回目 C, 11回目 D, 15回目

よったんのまえかけ

夏と言えば、トマト。何個でもペロリと食べられますよね！普通に食べても美味しいですが、こんな食べ方もあるんだと初めて知った「トマトゼリー」、町民の方からおすそ分けしてもらいました。作り方を聞いたので、私も近いうち作ってみようと思っています。

（材料）
・トマト（6こ） ・ハチミツまたは砂糖（大さじ4） ・オレシジュース少し ・ゼラチン5グラム。

①トマトの湯むきをする。
②湯むきをしたトマトを瓶にいれ、ハチミツか砂糖に漬けて一晩おく（水分がでてくるはず）
③なべに②とオレシジュースを入れ煮て、ゼラチンも加えてよく冷ます。
④カップか容器にうつす。ゼラチンが固まる寸前にトマトを入れると上に浮きおしゃれなゼリーになるそうです。



問題2 組み合わせ「四字熟語」クイズ

下の口にある漢字を組み合わせ「四字熟語」を10個作ってください（同じ漢字を繰り返し使用OKで使わない漢字もあります）。下の①～⑩のヒントをもとに考えましょう
※下のヒント以外でも、四字熟語があるかもしれません。あれば教えてください。

市	里	故	心	蘭
変	鳥	人	機	自
得	喜	無	中	不
夢	五	色	臨	新
一	応	十	温	憂
転	霧	業	知	賛
画	乱	仲	守	我

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩

【ヒント】

- ①昔の事を学んで新しい知識や見方を手に入れる
- ②その場の状況や変化にあわせて、ふさわしい手段で行う
- ③霧で方角を見失うことから見通しがたたないこと
- ④自分がしたことを自分でほめること
- ⑤様子が変わるたびに喜んだり心配したりすること
- ⑥あることをきっかけに心の動きがガラリと良い方向に変わる
- ⑦人が十人いれば十人とも性格や考えが違う
- ⑧我を忘れるほど物事に熱中すること
- ⑨心を乱さずに一つの事に集中すること
- ⑩自分で行ったことの報いは自分で受けること

【7月号の答え】

- 問題1 ①B ②D ③D ④B ⑤D ⑥A
問題2 ①イ 冬 ②ア 夏 ③イ 春
④イ 冬 ⑤イ 夏 ⑥ア 夏

邑南町公民館連絡協議会

「はばたき講座」開催

邑南町の12公民館で構成する「邑南町公民館連絡協議会」では矢上高校と石見養護学校高等部を対象として、社会人として身につけたいことや故郷に誇りをもってもらおう事を目的に毎年2回「はばたき講座」を開催しています。第1回目は7月19日に矢上高校生を対象として、町内で働く8名の先輩方の町との関りやU・ターンへのきっかけとなった経験を話してもらいました。

羽須美地域からは池月酒造(株)の末田麻里江さんに来ていただきました。末田さんは「矢上高校生は真面目に話を聞いてくれて、町の良いところや将来への希望などをしっかり持っている。」と話されました。先輩方の色々な経験を参考に、これからもぜひ町との絆を忘れないでください。



聖火リレーのトーチとユニフォーム 本物が「来た〜〜〜！」



邑南町の聖火リレーは5月15日に中野公民館から邑南町役場までの間を13名のランナーが走りました。その光景は通行規制等で実際に多くの観客を入れることはなかったですが、そのトーチとユニフォームを町民に見てもらおうと、12公民館を順次展示することになり、阿須那公民館は7/14~20まで図書館羽須美分館前に展示しました。無線放送を聞いて公民館に来る方があり、直接実物を見ることができた貴重な出来事でした。



おすすめ図書コーナー

学生のみなさんは、夏休みの宿題の読書感想文にいかがですか？幅広い世代の方に読んでほしいです。

絵」プロジェクトについて書かれています。被爆者の方に実際に接することで悩んだり苦しんだりする生徒たちの葛藤も描かれています。被爆者が高齢になりお話を聞くことは大変難しくなってきたいます。しかし、被爆者の「記憶」を「記録」の残すことがいま、一番必要なことのように感じます。



広島に原爆が投下されて76年目の夏です。この本は、広島のある高校の生徒たちが一年かけて被爆体験証言者から聞いたことを油絵に描く『次世代と描く原爆の

「平和のバトン」 弓狩 匡純 くもん出版

台風のつばき
台風9号の強風がすごかったですね。我が家の田は緑色の稲穂が斜めになってしまいました。が、今年の水稻の出来はどうなるでしょうか(不安)。7月中旬から全く雨が降らずのところへ上から「ドシャ」と降る大雨。カラカラの土台の土は崩れてしまいましたが、土台が肝心ですね。土台といえは「家」もですが「人」にも言えて、大きい(ふくよか)という体型に隠れている「内臓脂肪」がとっても気になり、つつい大きい服で隠そうと・・・。タンスの奥にある着れない服たちは、さらに奥へと進んでいく・・・。

～これからの行事予定～

—8月—

★8/20 映画上映会

「おかあさんの被爆ピアノ」

14:00~ 口羽公民館 ・高校生以上500円
18:30~ 羽須美体育館 ・中学生以下無料

21日(土) むらの保健室 9:30~ サロン室

23日(月) 手芸教室 9:00~ 創作室

24日(火) 3B体操 13:30~ 和室

○中山間地域等直接支払協定 個別相談会(中会議室)

◇24日(火)~25日(水) 13:30~16:30

◇26日(木) 10:00~12:00

28日(土) 阿須那婦人会役員会 9:00~ 中会議室

30日(月) あすな応援隊 19:00~ 大中小会議室

31日(火) 町校長会 9:30~ 大会議室

—9月—

1日(水) 人権相談 13:00~16:00 小会議室

2日(木) 郡校長会 9:00~17:00 大会議室

3日(金) 胃がん大腸がん検診 ホール

4日(土) はなまる算数教室 9:30~ 中会議室

7日(火) クラフ教室 13:30~ 和室

15日(水) レゾカフェおおなん 11:00~13:00 大会議室

※予定ですので変更もあります。

R3.7.31.現在	世帯数 (戸)	男 性	女 性	合 計
阿須那地域	321	301	348	649
口羽地域	341	320	362	682
羽須美地域	662	621	710	1,331
邑南町	4,782	4,876	5,374	10,250